

どんなものでも本にもどします。



新着本をご紹介します。  
本の世界へ、ぜひどうぞ!

『本でした』 (又吉直樹, ヨシタケシンスケ)

むかしむかし、村はずれにたっている空き家に、いつからか、2人の男が住みつきました。2人の男はある日、小さな看板を出しました。  
『どんなものでも 本にもどします』  
たった一行のヒントから、彼らは「その本」を復元していった。

『へいわとせんそう』 (たにかわしゅんたろう, フロンズ新社)

「へいわのボク」と「せんそうのボク」では、なにが変わるのだろう。同じ人なもの、場所を見開きごとに比べると違いが見えてくる。いま、子どもにも大人にも伝えたいメッセージ。



『六月のぶりぶりぎょ』 (刀城目学, 文藝春秋)

京都の奇跡、ふたたび。  
その1) 衆望殺人事件に巻き込まれた私は、うっかり本能寺の変のナゾに絡んでしまう……。その2) 14回生以上のウワサのある、女子寮のお局様の正体は!? 京都のまかせ不思議をつめ込んだ「静」と「動」の2篇。

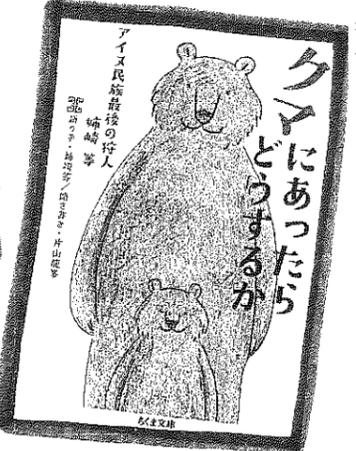
『すごい習慣 大百科』 (堀田秀吾, SBクリエイティブ)

大きな目標を達成するのも、すべては小さな習慣の積み重ねです。「何かを変えたい」「もっと前に進みたい」というあなたに、小さなたくまのヒントと勇気をお届けします。

本の中をちょこっと紹介 → 朝のストレスを減らし、いい日をスタートさせる方法 → 朝起きたら楽しかった記憶を思い出す。スキップをする → 元気な動きをすれば、ハッピーな気持ちになれる。

『クマにあたらどうするか』 (柿崎 尊, ちくま文庫)

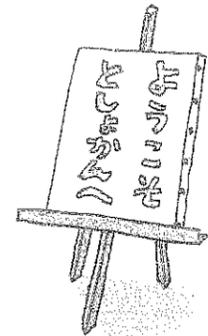
知ったかぶりが一番怖い。読んでいてそう思いました。アイヌ最強のクマ撃ちが残した 最高のクマの教科書。



第13回 京都本大賞 受賞



習慣化が10割

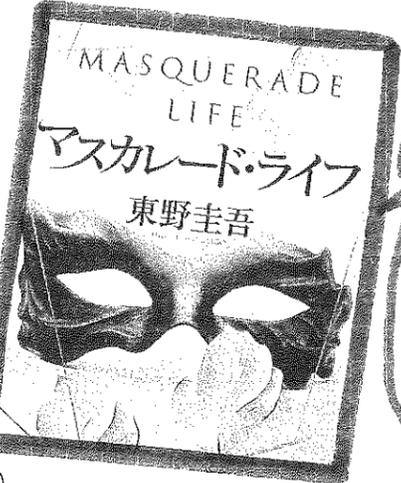


『名探偵コナン』 (青山剛昌) ← 追加で購入しました!

1~10巻と60~107巻。←あります。  
(マンガ本は、借りることはできません。図書館内で読んでください)

『マスカレード・ライフ』 (東野圭吾, 集英社)

一流ホテルを舞台に、元刑事とホテルマンコンビが、難事件に挑むミステリー。「マスカレード」シリーズの第5作。



誰もが仮面を付けている。ホテルマン新田浩介、始動。そして、父との再会。



『谷川俊太郎 質問箱』 (ほり)

本の中をすこし紹介します。  
(質問) 人は、何をしに生まれてくるのですか。(みもりん, 10歳)  
(答) 人は何かをしに生まれてくるわけではありません。生きているのが楽しくて幸せだと思えるように生きる、そのために生まれて、生きているんです。(谷川俊太郎)

『風のマジム』 (原田マハ, 講談社文庫)

契約社員から女社長に——。実話を基に描いたサクセス・ストーリー。琉球アイコム沖縄支店勤務、28歳、主人公まじむの、純沖縄産のラム酒を造るとい夢は叶うか!?

隊に あった 夢物語



『正体』 (柴井為人, 光文社文庫)

少年死刑囚が脱獄した。様々な場所で潜伏生活を送りながら、必死に逃亡を続ける彼の目的は? .....



『てあんじゅう』 (宮部みゆき, 角川文庫)

江戸で人気の袋物屋・三島屋で行われている「変わり百物語」。聞き手だけに胸にしまってきた怖い話や不思議な話を語っていく——。(シリーズ第2弾) (三島屋変調百物語 第1話~10話まで図書館にお封)



『パンどろぼう おにぎりぼうやのたびだち』 (柴田キョウ)

パンどろぼう、それは、せかいじゅうの美味しいパンをさがしもとめるおまどろぼう.....なのですが、このおにぎりは、いったいなにものでしょう。

